



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社ヘッドウォータース 上場取引所 東
 コード番号 4011 URL <https://www.headwaters.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠田 庸介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 原島 一隆 (TEL) 03-5363-9361
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向けおよび個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績 (2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益又は四半期純損失(△)	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	559	△5.0	33	△74.8	35	△73.0	△5	—
2020年12月期第2四半期	588	—	134	—	131	—	110	—
	1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(△)		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期第2四半期	△6.39		—					
2020年12月期第2四半期	134.74		—					

- (注) 1. 当社は、2019年12月期第2四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の前年同四半期増減率は記載しておりません。
 2. 2021年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。
 3. 2020年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	907	753	83.0
2020年12月期	936	756	80.7

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 753百万円 2020年12月期 756百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の業績予想 (2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,154	0.1	75	△55.5	77	△50.4	23	△84.9	24.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	924,800株	2020年12月期	922,800株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	一株	2020年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	923,364株	2020年12月期2Q	822,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大、およびこれに伴う緊急事態宣言やまん延等重点措置により、経済活動が大きく制約されるなか、企業収益や個人消費の減退など、極めて厳しい環境で推移し、経済活動の回復に向けた動きは鈍く、先行き不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、当社が属する業界においては、社会へ普及が進む人工知能(AI)など、人を介さないコミュニケーション手段の進展、リモートワークの広がりによるインターネットの活用が一層進むことが引き続き予測されます。

当第2四半期累計期間におきましては、不動産・金融・製造・サービス業など幅広い業界でAIソリューション事業の需要があり、カメラやセンサーなどIoTデバイスを利用したAIサービス開発・製品開発が増えております。

AI領域では、特に画像解析や機械学習の分野で普及が進んだ結果、AI機能を実装したサービス・製品が市場に公開されることが増え、当社AIインテグレーションサービスの売上高は234,064千円(前年同期比33.4%増)となりました。

一方で顧客からのAI実装における要求は高くなっており、より高度な機械学習モデルやAIエンジンの作成、業界初の試みを行う案件が増えてきております。これは、将来的なストックビジネスへ繋がりを見せるものの、短期的には該当案件に対する人員の増加となり、売上を伸ばせず利益率が低下しております。

DX(デジタルトランスフォーメーション)サービスにおいては、生産人員をAIソリューションサービスへ注力した結果、222,568千円(前年同期比30.4%減)となりましたが、PowerPlatform案件をはじめとしたマイクロソフト社からの案件は、効率化を目指す企業やAzureサービスをもっと活用したい企業など引き続き堅調であり、デジタル化や自動化と言った新しい事業軸が成長しております。

また、ストックビジネスとなるプロダクトサービスやOPSサービスにおいては、継続案件による安定した収益を確保しており、ストックビジネス全体の売上は102,578千円(前年同期比10.4%増)となりました。

内訳として、一部年間契約の見直しが実施されたプロダクトサービス売上高は28,794千円(前年同期比14.9%減)、リリースが終わり保守フェーズに入った案件やシステム増強を行った案件が重なったOPSサービスの売上高は73,783千円(前年同期比24.7%増)となりました。フロー型ビジネスとなるAIサービス、DXサービスの案件実施後、ストックビジネスへ順調に繋げております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は559,211千円(前年同期比5.0%減)、営業利益は33,839千円(前年同期比74.8%減)、経常利益は35,621千円(前年同期比73.0%減)、四半期純損失5,900千円(前年同四半期は110,867千円の四半期純利益)となりました。

当社では、AIを活用し更なる顧客サービスの実現を目指すAIソリューション事業の単一セグメントで推進しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比較して29,597千円減少し、907,315千円となりました。流動資産は前事業年度末と比較して24,276千円減少し、871,550千円となりました。主な要因は、現金及び預金が6,087千円、売掛金が17,347千円減少したことによるものであります。固定資産は前事業年度末と比較して5,321千円減少し、35,764千円となりました。主な要因は、投資その他の資産5,949千円の減少によるものであります。

(負債)

第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末と比較して26,196千円減少し、154,204千円となりました。主な要因は、前受金が6,873千円増加したものの、買掛金10,136千円、未払消費税等11,439千円、未払法人税等10,488千円の減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末と比較して3,400千円減少し、753,110千円となりました。

主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金5,900千円の減少によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)の残高は、前事業年度末に比べ、6,087千円減少し747,407千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得た資金は、22,953千円(前年同四半期は112,009千円の獲得)となりました。

主な要因は、法人税等の支払額14,748千円があったものの、税引前当期純利益5,591千円の計上、減価償却費2,458千円、投資有価証券評価損30,030千円の計上があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、31,548千円(前年同四半期は4,858千円の支出)となりました。

主な要因は、投資有価証券の取得30,030千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得た資金は、2,500千円(前年同四半期は26,632千円の支出)となりました。

主な要因は、株式の発行2,500千円があったことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績予想につきましては、本日2021年8月13日に公表しました「第2四半期業績予想数値と実績の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	753,495	747,407
売掛金	124,724	107,377
仕掛品	6,768	6,357
前払費用	10,776	10,264
その他	62	144
流動資産合計	895,826	871,550
固定資産		
有形固定資産	11,948	12,576
投資その他の資産	29,137	23,188
固定資産合計	41,086	35,764
資産合計	936,912	907,315

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	79,251	69,115
未払金	9,931	10,772
未払費用	33,703	30,755
未払消費税等	24,747	13,307
未払法人税等	20,793	10,304
前受金	2,218	9,091
預り金	9,755	10,857
流動負債合計	180,401	154,204
負債合計	180,401	154,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	354,266	355,516
資本剰余金	344,266	345,516
利益剰余金	57,979	52,078
株主資本合計	756,511	753,110
純資産合計	756,511	753,110
負債純資産合計	936,912	907,315

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	588,647	559,211
売上原価	280,815	318,665
売上総利益	307,831	240,545
販売費及び一般管理費	173,567	206,706
営業利益	134,264	33,839
営業外収益		
受取利息	1	3
還付消費税等	17	—
助成金収入	—	171
固定資産受贈益	—	1,568
その他	9	39
営業外収益合計	28	1,782
営業外費用		
支払利息	60	—
支払保証料	56	—
為替差損	117	—
上場関連費用	2,000	—
その他	206	—
営業外費用合計	2,440	—
経常利益	131,853	35,621
特別損失		
投資有価証券評価損	—	30,030
特別損失合計	—	30,030
税引前四半期純利益	131,853	5,591
法人税、住民税及び事業税	20,986	5,671
法人税等調整額	—	5,821
法人税等合計	20,986	11,492
四半期純利益又は四半期純損失(△)	110,867	△5,900

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	131,853	5,591
減価償却費	2,552	2,458
受取利息	△1	△3
支払利息	60	—
助成金収入	—	△171
為替差損益 (△は益)	117	△6
固定資産受贈益	—	△1,568
投資有価証券評価損 (△は益)	—	30,030
売上債権の増減額 (△は増加)	△21,967	17,347
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,760	411
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,556	△10,136
未払金の増減額 (△は減少)	100	840
未払費用の増減額 (△は減少)	△4,275	△2,948
未払消費税等の増減額 (△は減少)	4,553	△11,439
その他	1,738	7,122
小計	129,049	37,527
利息の受取額	1	3
利息の支払額	△46	—
助成金の受取額	—	171
法人税等の支払額	△16,995	△14,748
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,009	22,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,858	△1,518
投資有価証券の取得による支出	—	△30,030
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,858	△31,548
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△26,632	—
株式の発行による収入	—	2,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,632	2,500
現金及び現金同等物に係る換算差額	△117	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	80,400	△6,087
現金及び現金同等物の期首残高	402,838	753,495
現金及び現金同等物の四半期末残高	483,239	747,407

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。